

三好十郎著作集 「復刻版」 全12巻＋別冊1

A5判／上製／総7、730頁

揃定価 本体192,000円＋税

別冊 解説・回想・総目次

\*別冊のみ分売可 本体1,000円＋税

ISBN978-4-8350-7714-7

解説 山口謙吾  
回想 三好まり  
推薦 穴戸恭一  
原本提供 辻吉祥氏

◎配本概要

復刻版巻数	原本巻数	
第1回配本 第1巻	第1巻～第5巻	2014年11月刊行 本体48,000円＋税 ISBN978-4-8350-7697-3
第2回配本 第2巻 第3巻 第4巻 第5巻 第6巻	第6巻～第10巻 第11巻～第16巻 第17巻～第21巻 第22巻～第26巻 第27巻～第31巻	2015年5月刊行 本体48,000円＋税 ISBN978-4-8350-7701-7
第3回配本 別冊	解説・回想・総目次	2015年10月刊行 本体48,000円＋税 ISBN978-4-8350-7706-2
第4回配本 第7巻 第8巻 第9巻 第10巻 第11巻 第12巻	第32巻～第37巻 第38巻～第42巻 第43巻～第48巻 第49巻～第53巻 第54巻～第58巻 第59巻～第63巻・附録	2016年4月刊行 本体48,000円＋税 ISBN978-4-8350-7710-9

—— 既刊書のご案内

九州サークル研究会 発行（一九五八年～一九六一年）

サークル村 全3巻・付録1・別冊1

九州全県と山口県の地域や職場のサークル相互の交流と連帯を目的として創刊された（サークル交流誌）。創刊時の編集委員は上野英信、谷川雁、森崎和江等九名。会員は数十のサークルに所属する二〇〇余名であった。一九五九年に模索された（全国サークル交流誌）の提案と計画作成に大きな衝撃を与えた関連三誌（『労働藝術』『地下戦線』『炭鉱長屋』）と併せて復刻。集団の戦後思想史を形成したサークル運動の実相を伝える。

別冊 解説（松下博文・坂口博・井上洋子）

回想（小日向哲也・うえだひろし・加藤重一・河野信子）

総目次・索引

体裁 II A5判・B5判・上製・総1,946頁

推薦 II 有馬学・池田浩士・上野千鶴子・鶴見俊輔

揃定価 本体65,000円＋税

琉球大学芸部（琉大文藝クラブ）発行（一九五三年～一九七八年）

琉大文学 全5巻・付録1・別冊1

『琉大文学』は米軍の強い取締りの中、創刊された。当時、誌面でも多くの同人がペンネームを使用していたのは、名前を秘すことが必要な時代であったからだ。この雑誌から新川明、川満信一、岡本恵徳、儀間進、伊礼孝、清田政信、中里友豪等、代表的な戦後沖繩の文学者を生み出した。同時期に足跡を残した『前衛地帯』『沖繩文学』『サチュリコン』と併せて復刻。

別冊 解説（我部聖）・総目次・索引

体裁 II A5判・上製・総2,556頁

推薦 II 小森陽一・新城郁夫・仲程昌徳・目取真俊

揃定価 本体96,000円＋税

\*表示価格はすべて税別

不二出版

〒113-0023  
東京都文京区向丘1-2-12  
電話 03-3812-4433  
ファクシミリ 03-3812-4464  
振替 0016002940884

2014/10

三好十郎 著作集 全12巻 別冊1

「復刻版」

不二出版

◎解説 II 山口謙吾

◎回想 II 三好まり

◎推薦 II 穴戸恭一



第一巻



◀三好十郎（一九五三年、三好まり氏提供）

孤高の劇作家、三好十郎が書き残したもの——戯曲、詩、小説、評論、随筆、書簡、ノート他を最も詳細に知ることの出来る重要資料を復刻！











復刻版巻数	原本巻数	内容	発行年月日
第7巻	32	をさの音／俺は愛する／「俺は愛する」創作ノート	1963 (昭和38) 年 6 月21日
	33	樹氷 (上) / 「樹氷」舞台劇化のためのノート①	1963 (昭和38) 年 8 月20日
	34	樹氷 (下) / 「樹氷」舞台劇化のためのノート②	1963 (昭和38) 年 9 月28日
	35	(※新聞・雑誌等所収) 作者より／「ツーロン港」と「喋る」／ソフィスト列伝／丸山定夫についての断片／劇作家のくらし／新劇の悪口 他 (計24点)	1963 (昭和38) 年10月23日
	36	逃げる神様／噛みついた娘／寒駅／マツコとユミコ	1963 (昭和38) 年11月27日
	37	夢たち／夜の道づれ	1964 (昭和39) 年 1 月16日
第8巻	38	廃墟／橋の下	1964 (昭和39) 年 1 月31日
	39	大インテリ作家／小説製造業者諸氏／「日本製」ニヒリズム／ブルジョア気質の左翼作家／落伍者の弁／或る対話／恐ろしい陥没／ぼろ市の散歩者 他 (計11点)	1964 (昭和39) 年 3 月20日
	40	炭塵／「炭塵」に添へて	1964 (昭和39) 年 ※月日不明
	41	天狗党余燼 襲はれた町／鷺の王峠	1964 (昭和39) 年 4 月28日
	42	その人を知らず／「鏡」のためのノート／「寒駅」のためのノート	1964 (昭和39) 年 5 月31日
第9巻	43	地熱／獅子	1964 (昭和39) 年 6 月30日
	44	(※新聞・雑誌等所収) 真実はある／映画・感覚／女流作家 (上) (下) / 東西文学者比較研究／催眠小説の流行／日本より／小説の衰弱 他 (計20点)	1964 (昭和39) 年 7 月31日
	45	殺意 (ストリップショウ) / 痴情	1964 (昭和39) 年 8 月31日
	46	愚者の楽園／夕閑語	1964 (昭和39) 年 9 月30日
	47	美しい人 (上)	1964 (昭和39) 年10月31日
	48	美しい人 (中)	1964 (昭和39) 年11月30日
第10巻	49	美しい人 (下)	1964 (昭和39) 年12月31日
	50	三日間／劇場の真実／「三日間」のための覚え書	1965 (昭和40) 年 1 月31日
	51	(※新聞・雑誌等所収) 文学に於ける政治／逆コースの恐怖／ひとの命わが命／平凡ですぐれた詩／歩くこと／カミュの政治参与／抵抗のよりどころ 他 (計19点)	1965 (昭和40) 年 2 月28日
	52	バイロン伝	1965 (昭和40) 年 3 月31日
第11巻	53	トミイのスカートからミシンがとびだした話／魔の石／「魔の石」ノート	1965 (昭和40) 年 4 月30日
	54	肌の匂い／補遺・詩四篇	1965 (昭和40) 年 6 月30日
	55	(※新聞・雑誌等所収) 「火炎ビン」始末／抵抗の姿勢／打ち砕かれた心／清水幾太郎さんへの手紙／アメリカ人に問う／平和というバベルの塔 他 (計12点)	1965 (昭和40) 年 7 月31日
	56	やまびこ／猿の図／ごくつぶし	1965 (昭和40) 年 8 月31日
	57	(※新聞・雑誌等所収) 腰ぬけインテリ／T君からの手紙／T君への返事／退屈している作家／口舌の徒／くいちがい／徒勞／人間の二つの型 他 (計28点)	1965 (昭和40) 年11月16日
	58	生涯からのノート (第一) (第二) / 戯曲のつくり方	1965 (昭和40) 年12月22日
第12巻	59	(※新聞・雑誌等所収) 判断保留のこと／二人の狂人／急進派の病氣／若い世代に失望／ほめるらん／思いきった手紙／退屈の話／悪人を求む 他 (計41点)	1966 (昭和41) 年 1 月30日
	60	評論随筆補遺 (1) (2) 戯曲座のために／押川昌一君のこと／この作品を観よ／演劇断想／不良心／談話 秋元さんの事 他 (計50点)	1966 (昭和41) 年 3 月31日
	61	ノート 1・2	1966 (昭和41) 年 5 月17日
	62	(※書簡) 1～164	1966 (昭和41) 年 7 月 2 日
	63	(※書簡) 165～557／補遺	1966 (昭和41) 年 9 月30日
	附録	活動写真台本・戦国群盗伝	1966 (昭和41) 年10月31日

復刻版巻数	原本巻数	内容	発行年月日
第1巻	1	峯の雪／「峯の雪」に関するノート／小説 神という殺人者／戯曲 神という殺人者／ノート 神と人の間—神という殺人者／創作ノートについて	1960 (昭和35) 年11月 8 日
	2	好日／おりき	1966 (昭和41) 年 3 月22日(*再版)
	3	評論・随筆篇一 (計15点)	1960 (昭和35) 年11月26日
	4	彦六大いに笑う／彦六なぐるる／彦六の欲び／「彦六のよろこび」に関する「ノート」／決闘	1961 (昭和36) 年 1 月21日
	5	せき／字・西の田／焼酎	1961 (昭和36) 年 3 月 2 日
第2巻	6	朝露／捨吉／獣の行方／内の鷺／「朝露」の出演者に	1961 (昭和36) 年 4 月 5 日
	7	天狗外伝・斬られの仙太／「好日」補筆のための覚え書／「廃墟」第二部のための覚え書	1961 (昭和36) 年 5 月17日
	8	賭ける女／横町の話	1961 (昭和36) 年 6 月15日
	9	首を切るのは誰だ／疵だらけのお秋／おまつり／唸れロボット	1961 (昭和36) 年 7 月11日
	10	じぶんの顔／生活から／文体／寝ざめぎわ／二三のくふう／十年二十年のこと／宗教について／原始と近代／戯曲座にて／行き倒れ 他 (計26点)	1961 (昭和36) 年 8 月19日
第3巻	11	傾斜／危険な演技／鍾乳洞／一夜	1961 (昭和36) 年 9 月30日
	12	無明一番槍／「無明一番槍」に就て／露路の奥／青春	1961 (昭和36) 年10月30日
	13	報国七生院／横に！そしてタテに／熊手隊／童話 花と卵	1961 (昭和36) 年11月25日
	14	詩劇 水仙と木魚／大福と予言者／夜の饗宴／やかましい人／オペレッタ 大福と予言者／「夜の饗宴」についての覚え書	1961 (昭和36) 年12月23日
	15	(※詩) 雨夜三曲／一番外側のもの／今 私の友は／空と涙と／怠けた放浪者／寒の河原／月かげを埋葬す／味噌買いに行く／旅行をする精神 他 (計48点)	1962 (昭和37) 年 1 月31日
第4巻	16	(※雑誌・パンフレット所収) 新劇と映画／作家渡世／新劇の弱さ／新劇を強めるために／商業劇団のレポートリー／ラジオの演目／愉しいから 他 (計23点)	1962 (昭和37) 年 2 月27日
	17	彦六大いに笑ふ／地熱／おスミの持参金	1962 (昭和37) 年 3 月31日
	18	炎の人／ゴッホの三本の柱／人生画家ゴッホ／炎の人(作品集より) ゴッホとのめぐりあい	1962 (昭和37) 年 4 月30日
	19	大きい車輪／女ごころ／妙な女／撮影所の幽霊／美しい手紙	1962 (昭和37) 年 5 月26日
	20	胎内／戯曲研究会のノートから	1962 (昭和37) 年 6 月12日
第5巻	21	妻恋行／屠殺場へ行く路／鏡	1962 (昭和37) 年 7 月17日
	22	破れわらじ／不良日記／健の犯罪／夜の潮／願いごと	1962 (昭和37) 年 8 月21日
	23	世界最古の書籍／熔接されたもの／「熔接されたもの」解題	1962 (昭和37) 年 9 月27日
	24	(※新聞・雑誌等所収) 村山知義へ／芝居随談／観客との合作／安住の棲家／映画に関しない随筆／三月の劇評／三面記事的リアリズム／文芸時評 他 (計24点)	1962 (昭和37) 年11月 5 日
	25	浮標／病中手記	1962 (昭和37) 年12月 6 日
第6巻	26	生きてゐる狩野／幽霊荘	1962 (昭和37) 年12月16日
	27	恐山トンネル／鉄のハンドル	1963 (昭和38) 年 1 月31日
	28	ぼたもち／初旅／鈴が通る／ともしび／女体	1963 (昭和38) 年 2 月26日
	29	(※新聞・雑誌等所収) 「路地の奥」の作者として／芸術至上主義と能率至上主義／本職のこと／講演ぎらひ／俳優いろいろ／俳優への手紙 他 (計16点)	1963 (昭和38) 年 4 月 5 日
	30	冒した者／「冒した者」演出メモ／町はずれ	1963 (昭和38) 年 7 月27日
	31	崖／稲葉小僧／満員列車／「満員電車」稲葉小僧 上演の手びき	1963 (昭和38) 年 5 月15日